

区政のここが聞きたい

第1回定例会一般質問(要旨) 2月18・19日



※本会議、常任委員会、特別委員会、議会運営委員会及び予算・決算特別委員会の録画映像を、区議会ホームページで公開しています。

としま新時代へ さらに前へ進む区政に



自民党豊島区議員
竹下ひろみ

●令和2年度予算について

問 当初予算における投資的経費は元年度の403億円から104億円と減少。これはどのような投資事業の変動によるのか。

答 東京建物プリリアホール、としま区民センター等元年度終了の13のまちづくり記念事業総事業費は206億6千万円で、減の多くが係る事業の完成による。

問 今後も人件費の抑制、公民連携の推進など構造改革に引き続き取り組むとしている。さらに踏み込んだ具体的な内容は。

答 RPA、AI、IoT、その基盤の5Gネットワークといった先端技術を、都や民間と連携し、福祉、教育等生活全般の施策に積極的に取り入れる。

●区有施設のあり方について
問 区民の生活を支える身近な施設も計画的に更新を進めていくべき。具体的な考えは。

答 来年度以降、3つの区民ひろば改築・改修、3つの保育園改修、2つの小中学校改築、14の小中学校改修など着実に推進。今後も財政的な裏付けを確保し、これまでと同様計画的に更新。

●総合評価入札制度について
問 元年度総合入札結果を見て、価格の引下げに対する考えは。

答 係の入札は4月から12月の間18件あったが、価格以外の要素での落札は3件にとどまった。価格係数をさらに90から80へ引き下げ、バランスを図る。

問 日頃地元業者が防災訓練に積極的継続的に参加し、災害に備えていることをしっかり評価

していることをしっかり評価

防災活動評価点を見直しすべき

答 台風19号風水害で改めて民間事業者との協力体制の重要性を認識。過去2年に1回の区の防災活動の参加で0.5点、2回1点、3回以上2点を加算する。

問 区内事業者の保護育成につながる公平・公正な本店所在点の点数配分をすべき。

答 区内事業者の保護、育成は施設、設備の修繕やメンテナンスに効果大。災害時に司令塔となる本店が区内にあれば復旧、復興の協力体制も迅速、的確にできる。本店所在点を1点から2点に引き上げる。

問 低入札価格を下回った場合その価格の適正性の調査を行うこととされている。区の考えは。

答 総合評価競争入札推進委員会で議論。今後は制度の趣旨に基づき価格調査を行いたい。

●「教育都市としま」の実現に向けて
問 あいさつやおもいやり等の価値を学び、進んで善い行いをする規範意識を身に付けさせる教育方針、具体策、実績は。

答 子どもたちの規範意識の育成は重要な課題。教育ビジョン

の基本方針に位置付け、豊かな心と規範意識の育成を目指す。「特別の教科 道徳」はじめあらゆる教科の学習、移動教室や

体験学習の中で心を育てる取組を行う。更に全校であいさつに積極的取り組み、安全・安心な学校づくりにつなげている。

を活かし、きめ細かく支援する。

豊島区の未来に向けて



公明党
西山 陽介

●令和2年度予算案について

問 待機児童対策予算の推移は。

答 本格的な対策を開始した27年度以降6年間で49園、園児2千人分の対策を実施。誘致経費と運営経費に累計約490億円を投じ、平成29年度、30年度には待機児童ゼロを達成した。令和2年度も達成の見込み。今後も保育や子育て環境の質の向上と充実に向け、全力で取り組む。

●高齢社会への対策について
問 社会的孤立は健康寿命に悪影響を与え、経済も打撃を受ける。社会的孤立ゼロへの対策は。

答 地域での見守りや支え合いのほか、積極的な外出や社会参加の促進も有効。区内の外出先の魅力や地域活動等の情報発信を強化するとともに高齢者の就業促進にも積極的に取り組む。

問 東池袋フレイル対策センターの「おとな食堂」は大好評。フレイル予防拠点で区民ひろばに展開する際も導入の検討を。

答 職員体制等の課題と、地域

の意向も踏まえ、検討する。

問 総合高齢社会対策の理念を盛り込んだ条例の制定を。区が目指す高齢社会の姿は。

答 「すべての人が主役の豊島区」を目指し、スピード感をもって条例制定を進める。

●社会的養育の推進について

問 社会的養育の推進のため、施設養育と家庭養育の役割や位置付けをどう整理するのか。

答 より家庭に近い養育環境が望ましいが全児童の家庭養育への受け入れは困難。施設養育には家庭復帰や里親養育への早期移行を支援する専門機関の役割がある。それぞれの特性や機能が

を活かし、きめ細かく支援する。

問 子どもの社会的養育には、児童養護施設等の整備が重要。施設養育に対する区の考えは。

答 区内での児童養護施設整備は喫緊の課題。令和2年度中に社会的養育の推進方針をまとめ、計画的な環境整備に取り組む。

●掲示板の在り方について
問 区の広報掲示板すべてを、扉付き・マグネット対応板面にしたい。貼り替える現場の方の思いに立った整備を。

答 令和元年度末には188基中122基を扉付きにする。マグネット対応も4基導入。今後は扉付きマグネット対応を基本とする。

問 掲示板の今後の在り方と掲示板による広報の在りようは。

答 小さくとも掲示板には街としての景観への心構えが現れる。今後も広報紙と並ぶ重要な情報媒体として積極的に活用し、管理主体に関わらず適正な維持管理を続ける方策を検討する。

を活かし、きめ細かく支援する。

●令和2年度予算について

問 本区が都の戦略ビジョンに位置付けられた意味合いは。また、その将来像に向けての都との連携とアクションは。

答 池袋の役割とブランドが明確になったと考える。駅周辺の回遊性・利便性の高い歩行者中心のまちづくりを都と緊密に連携し推進。国際アート・カルチャー都市実現へ更に取り組む。

●感染症対策、テロ対策について
問 区が新型コロナウイルス感

染症へ講じた対策は。

答 危機管理対策本部を設置し、24時間体制で相談に応じているほか、正しい対応を区民に周知するとともに、区役所においては感染症予防を徹底している。

●教育都市としまの将来像について
問 学校給食への公費補助事業の目的と具体的な事業内容は。

答 食育を推進することを目的としており、区と交流のある宮城県や秋田県のお米を使った郷土料理を献立として提供する。

を活かし、きめ細かく支援する。

を活かし、きめ細かく支援する。

を活かし、きめ細かく支援する。



安全・安心な学校づくり



おとな食堂

集中投資を一区切りした 本区の将来像について



都民ファーストの会 民主
細川 正博

※RPA…AIを備えたソフトウェアのロボット技術により、定型的な事務作業を自動化・効率化すること
※AI…人工知能
※IoT…あらゆる物がインターネットを通じてつながることによって実現する新たなサービス、ビジネスモデル

※5G…通信速度をより高めた次世代の移動通信システム
※社会的養育…虐待や家庭的な理由等で保護者のもとで暮らせなくなった児童に対し、公的な責任として、社会的に養育を行うこと



学校給食

問 米飯給食の目標値を持つなど目的を曖昧にしないように。
答 米飯給食の割合を週4回に増やし、目標値とする。

問 「特別の教科 道徳」について、現時点での成果と課題は。
答 成果は、読み取り中心の授業から、自身が考え他者と意見交換し、自らを深めていく授業に転換が図られていること。今後の課題は、学習による成長の評価方法の工夫・充実であり、各学校に指導・助言していく。

問 インターナショナルセーフスクール(ISS)は認証取得自体が目的ではなく取組内容が重要。新規認証は一区切りとするか。今後の再認証への考えは。
答 2年度で一区切りと考えている。再認証についてはコミュニティ

自治体本来の役割をはたし、命と暮らしを守る区政に



日本共産党 小林ひろみ

●2020年度予算について
問 区長は当初予算案について、公民連携を推進し「稼げる自治体」として新たな歳入の確保に努めると述べている。池袋西口公園などは、カフェを作って「稼いで」も追いつかないくらいイベント経費や維持管理経費が掛かっているではないか。
答 来街者が訪れ、街への波及効果は大きい。

問 予算には含まれていないイケアの停留所の上屋の建設費はいくらか。
答 設計を行った上で積算するため、現時点では未定。
再質問 予算はこれくらいまでというのがなければ、費用が際限なく上がるではないか。
答 イケ・サンパーク(旧造幣局跡地の防災公園)の上屋の設計料等は5千万円ほどを想定。

ニティ・スクールモデル事業の検証と並行して検討していく。
問 「ISSの全校化」という表現は現在の方針にそぐわない施策名の一般名称化を教育委員会で議題に取り上げるべき。
答 名称については、認証される学校とノウハウを継承して取り組む学校の両方を合わせて進めていくことを明確にし、教育委員会においても確認していく。

問 幼稚園に入所している区内幼児の半数が区外施設に通っている現状をどう受け止めているか。また、課題とその対応策は。
答 区の幼稚園の特色を十分に伝えられていないと受け止めている。最大の課題は入園児数の減少であり、区民ニーズに的確に答えていく体制の構築が必要。

問 区立幼稚園のセンター的機能と区立保育所の地域の保育施設の核となる役割、これらを連携し機能させていく必要があるが、今後の進め方と役割分担は。
答 区立幼稚園は公開保育や研究活動、区立保育園は保護者向け事業等の家庭教育支援に重点をおき、教育・保育の質向上に向けて連携を深めていく。

グリーン大通りの上屋は1千万円程度を考えている。
再質問 どのようなものか。高すぎる、やめるべき。
答 イケ・サンパークには停留所と待合室。グリーン大通りには、南池袋公園側の停留所1箇所を設置。効果的な投資である。
問 乗客が乗っていないイケパスの運行費補助はやめ、区民の足としてコミュニティバスの運行を早急に進めるべき。
答 コミュニティバスの運行には課題があり、早急に導入することは難しい状況。

問 保育士の待遇改善のため職員配置基準見直しを国に強く求めよ。区独自に給与の上乗せを。
答 配置基準の見直しは国に強く要求していく。保育士への直接給付は考えていない。
●国民健康保険について
問 保険料を上げ続け、払えな

豊島区政のさらなるスリム化を目指して2



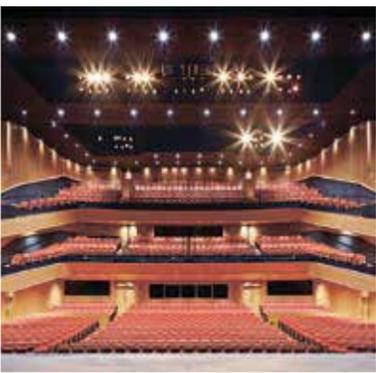
立憲としま 古塚としひこ

●令和2年度予算について
問 消費税増税の影響や景気の先行き不安等により、区財政にとつてマイナスのトレンドも考えられる。この先の歳入の見通しが甘いと考えるが、見解は。
答 確定的な見通しを持つことは困難。直近の実績に基づいて見直しを立てざるを得ない。
問 区長の招集挨拶・所信表明で「稼げる自治体としての新たな歳入の確保にも努める」と述べているが、どういうことか。
答 公民が連携しながらまちづくりを推進し、まちの魅力や価値を高めていくことで、区立芸術文化劇場のネーミングライツ等、新たな歳入を確保する。



保育士の待遇改善

い人から保険証を取り上げる資格証や短期証はやめるべき。
答 相談業務による滞納整理に取り組むことで、資格証、短期証の交付を減少させていきたい。
●健康施策について
問 聴覚検査の年齢拡大について区の見解を問う。また補聴器について購入補助金額の増額等を検討すべき。
答 対象年齢の拡大は現時点で考えていない。補聴器購入費助成は妥当な金額と考える。



区立芸術文化劇場

を支援する施策や環境の充実に向けて、取組を続けていく。
●令和2年度予算案について
問 生活実態を把握し、行政施策の展開の可能性や手法を示すことが必要。早期に高齢社会対策の分布図を作成すべきでは。
答 検討を進め、なるべく早い段階でお示しできるように努める。
●介護保険制度について
問 介護が必要な人に必要なサービスが保障される制度設計が必要では。
答 国の審議会等で議論がされており、特別区長会などを通じて必要な意見を具申ししている。
問 介護業界の経営が厳しくなり、高齢社会を支える基盤そのものが失われかねない状況についての区の考えは。
答 楽観はできないが、直ちに介護基盤を失いかねない状況とは考えていない。今年4月には、設立支援してきた事業協同組合が設立の見込み。今後も介護基盤の強化支援に取り組んでいく。
問 制度を国が給付事業体系に移行も視野に入れ、自治体負担の抜本的改革への見解は。
答 以前の公的ヘルパーのような国の給付事業に移行する抜本的な改革を発信する考えはない。
●教員の働き方改革について
問 様々な事案の発見のため、全ての子どもと目を合わせ、言葉交わす環境設定を教育委員

子ども達が夢や希望がもてる豊島区を目指して



無所属の会 わがい 哲代

会が率先して遂行すべきだが。
答 校務支援システムの導入やサポート・スタッフの配置などに取り組んでおり、今後も働き方改革をリードしながら推進。
問 スクールロイヤールに不足が生じた場合の対応とスクールロイヤルワーカーの各校配置計画は。
答 弁護士1名の委託契約、スクールロイヤルワーカーは全校6名体制で、当面は十分対応可能と考えている。
問 スクール・サポート・スタッフの配置事業の効果、教員の負担軽減の数値目標及び子どもに対する影響の具体的シミュレーションを提示すべき。
答 授業で使う学習プリントの印刷・配付の準備の補助等を担い、特に資格要件はない。他の取組の効果を含め年間超過勤務削減目標は17時間。教員が子どもに向き合う時間などが増加。



スクール・サポート・スタッフ



無所属元気の会 小林 弘明

AI・5Gをはじめとする最新ICT技術を身近な暮らし・区政に導入し、住み続けたい街の更なる実現を。
●区政のAI化・ICT化に、
 全庁的に対応できる専任職員

配置・採用育成、および公民連携体制について

AI・ICT分野は、異動を伴う区職員ではなく、専門家を



つかってみよう!マイナポータル (内閣府ホームページより)

からの登用が最適では。早い時期を目標に、民間人材登用の方策を検討していく。

マイナンバーカード、5G対応をはじめとする最新ICT技術導入における、豊島区の対応と今後の動向について

区民と共につくる 豊島区の未来



豊島ネット 塚田 ひかり

区民にやさしいまちづくり

区の施策に子ども意見が反映できるように仕組みが必要

他自治体の先進事例やその取組の効果について、調査・研究に取り組みたいと考える。

子どもの貧困は親の貧困であり、現代の貧困問題は、地域から孤立していることが問題。

貧困を含む様々な困難を抱える家庭の早期把握に努め、地域全体での支援を推進する。

区独自の騒音測定をすべき。区内で最も低く飛行する経路



豊島区上空低空飛行ルート

路の下にある南長崎第二保育園の屋上での計測を計画しており、測定時期や広報の方法等を検討

豊島区が締結している NHK受信契約について



テレビ改革党 くしざわ亮治

区がNHKと締結している放送受信契約数

区民に十分に情報が行き届いておらず、再度の教室型説明会の開催が必要。今後の予定は、国からの情報はないが、再度の開催は必要と考えており、国へ引き続き要望していく。

NHKに関する苦情や相談を受けているとNHK関係者の犯罪が多いことに気がついた。

改善が見られないため、NHKの利益となるような支出、特に税金を使った支出に反対である。豊島区がNHKと締結している受信契約数は。

今年度、本庁舎、区民ひろば、保育園、小中学校等において、22件のNHK受信契約を締結している。

子どもが自由にのびのびと暮らせる豊島区を目指そう!!



あたらしい豊島の会 入江 あゆみ

プレーパーク事業について

プレーパークの運営を行っているプレーリーダーの方たちの待機場所の確保及び労働環境の改善が必要と考えるが。

労働環境の改善にもつながる待機場所確保の方策を引き続き検討していく。

子どものゲーム利用制限について

香川県の子どものゲーム使用時間を制限する条例案は「豊島区子どもの権利に関する条例」と矛盾するのでは。本区で同様の条例制定の可能性は。

本区と香川県の条例案の考え方は相いれないため、同様の条例を制定する考えはない。

豊島区の、未来に責任。



自民党豊島区議員 藤澤 愛子

まちづくりについて

多様なオフィスワーカーが



苦情・相談

豊島区がNHKに支払っている受信料の年間総額は。

今年度の受信料支出の年間総額は235万6千円となる。



「豊島区子どもの権利に関する条例」リーフレット(一般用)

保育園の園庭に指定されている公園については、入札ルールの見直しを行い、早期に契約締結をすべきと考えるが。

地方自治法に定められた方法での入札が原則で、区独自のルール変更は困難。保育園児が利用する遊具の修繕については、優先的に手続きを進める。

快適に生産性高く働ける環境が求められている。豊島区で働く人々にとつての魅力的なまちづくりをどう捉えているか。

家庭や職場とは異なる第3の居場所である魅力的な「サードプレイス」を街中に整備していくことと考えている。

池袋の賑わいを、それぞれの街の雰囲気と特徴を捉え、落とし込むことが必要。区全体の活性化へどう結びつけるか。

多言語の情報発信機能を充実させるとともに、池袋を訪れた人たちが個性的な各地域の回遊を促進する手法を検討する。



多言語の情報発信機能

子供達の命を守る施策について

助けを必要とする子供たちへ、適切で切れ目の無い支援を実現する自立援助ホームは大変重要な施設。区の考えは。

思春期の児童にとつて心の

誰一人取り残さない 持続可能な豊島へ



公明党 高橋 佳代子

SDGsの取り組みについて

SDGsのモデルとして未来都市に名乗りを上げるべき。

満を持して、応募に向け前向きに検討する。

福祉施策について

拠所であり、重要な機能を果たす施設と考えるため検討する。

新設される児童相談所について、職員の異動や勤務体制、一人当たりの対応件数の想定は。

福祉分野の職員とのローテーションを構築し、安定した配置に努める。児童福祉司は16名の対応件数は約35件を想定。

女性の社会進出が進み、共働きが増えている。子供を産み育てること、子育て世帯が働くことをどう捉えているか。

これまでも、待機児童対策など、子供を産み育てること、働く子育て世帯への支援に取り組んできた。今後も多角的な視点から取組を進めていく。

保育士が子供と触れ合う時間を確保できるなど、より質の高い保育を実現するため、区立保育園のICT化を検討しては。

先行自治体を参考にモデル的に導入することにより、本格的なICT化につなげていく。

公園について

利用しにくい小さな公園を、隣接する駐車場などを活用し、面積を広げること検討しては。

各種事業の補助金を活用しながら、公園の拡大に努力する。

高南保育園は今後保育需要

が高まり待機児童が発生する恐れがある。建て替えて、受け入れ枠の拡大を強く要望する。

高南保育園の増改築は待機児童対策として有効だが、仮園

舎の確保が大きな課題。適地を見つけて努力を続ける。



高南保育園

障がい者の自立及びB型作業所の賃金向上への取組について、考えを伺う。

障害の状態、本人の考え方を尊重した自立支援が重要。都の受注情報を提供する等安定した事業運営への支援に努める。

発達障がい者相談事業の、現在の課題と今後の取組は。

医療的対応が可能な専門機関が少ないのが課題。2年度より医師の専門相談、発達障害者支援方針会議を開始する。

明るく活気のある街づくり

池袋を中心とした事業の検証と、その成果について

新たな施設や街並みへの区民等の反応と区長が当初描いていたものとの違いについては。

区民をはじめ多くの来街者が様々な施設やイベントに訪れている。大きく生まれ変わった街はメディアで取り上げられ、その反響は想像を超えている。

区長が目指す「文化」に対するこれまでの取組をどう捉えるか。

センターの連携、子ども発達支援センター設置の両面で検討中。

住宅セーフティネット事業実現への取組を求める。

住宅の登録を検討するオーナー向けに補助の拡充等を行い、補助制度の周知を図っていく。

教育について
柚子の木教室に通うことができない不登校の児童・生徒に対し、どのような支援をしているか。

自宅でeラーニングに取り組み等のサポートを検討する。

不燃化特区に追加する等、今後の上池袋一丁目地区のまちづくりについて、区の考えは。

特区制度の延伸に加え、対象区域に上池袋一丁目を含めるよう都に強く要望している。

開設する救済センターの周知、運営等の今後の取組は。

震災時と風水害時では救済センターが異なり、様々な課題がある。今年の梅雨前には課題を解決し、対策に万全を期す。



都民ファーストの会 河原 弘明

文化の力でまちの価値を高め、賑わいを創出し、新たな夢と希望をもたらすことができた。

ミュージアムや図書館と連携しつつ、マンガ・アニメのアーカイブの整備が必要では。

全国のマンガ関連ミュージアムや図書館と連携し情報収集するとともに、地域の活動記録

や報道発表等も収集・保存する。

教育長のトキワ荘学習についての展望とトキワ荘関連図書

マンガを手がかりに、作者の作品に込めた思いや生き様を学ぶことは、ふるさと学習のみならず、生き方を学ぶキャリア教育にもつながる。配架は、現時点で、3割程。来年度、全校配架を目指す。

空き店舗にマンガ家の故郷のアンテナショップはどうか。

大変意義深いことである。活用店舗や先方の考えも踏まえ、前向きに検討する。

「トキワ荘」に賭ける区長

区民のくらしを守り、安全、安心の区政を

消費増税に伴う対策について
消費増税により、景気動向指数は5か月連続、1世帯当たりの消費支出は3か月連続のマイナスである。増税が区民生活や中小事業者等に深刻な影響を与えている認識はあるのか。

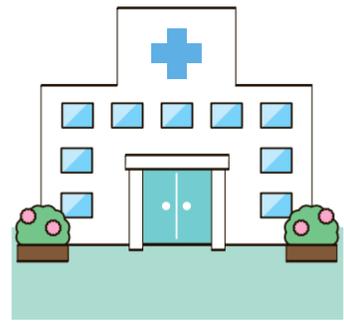
今後の景気動向については、慎重に見定めていきたい。

地域活動支援センターの補助金は消費増税8%引き上げ時にも今回も拡充がない。値上がり分

肺がんCT検査は希望者が多く、予約が取れない。区はあらゆる方策を講じ、直ちに低線量CT検査ができるよう対応を。

検診枠の増設とともに低線量CT等、新機器導入の可能性も、調査・研究していく。

小池都知事は、昨年の第4回定例会で突然、14の都立・公社病院の独法化を表明。都立大塚病院は地域の拠点病院、都知事に独法化の撤回を求めよ。



病院

の気持ちは。

ミュージアムが国内をはじめ海外からも多くの来街者を迎えるよう、また、まちの回遊性を高め、地域全体の賑わいにつながるよう熱意をもって取り組む。

「としま案内人」という生きがいを見つけ、活躍しているシニアの方々がいる。活動に対する評価と今後の期待は。

国際アート・カルチャー都市の実現の一翼を担っており、高く評価。更なる活躍を期待。

脱プラへの具体的施策について
イケバス模様のマイボトルを持参することによるカフェ等の割引やエコアイデアコンテストを実施してはどうか。

マイボトルの利用で割引等の特典がある区内の店舗をHPで紹介するなどの取組や、区民来街者が実践したくなる取組を検討。



日本共産党 儀武 さとる



トキワ荘マンガミュージアム

撤回を都知事に働きかける

未来を作るチャレンジ

いきいきアクティブシニアの応援施策について

「としま案内人」という生きがいを見つけ、活躍しているシニアの方々がいる。活動に対する評価と今後の期待は。

国際アート・カルチャー都市の実現の一翼を担っており、高く評価。更なる活躍を期待。

脱プラへの具体的施策について
イケバス模様のマイボトルを持参することによるカフェ等の割引やエコアイデアコンテストを実施してはどうか。

マイボトルの利用で割引等の特典がある区内の店舗をHPで紹介するなどの取組や、区民来街者が実践したくなる取組を検討。

政治とは弱き者に光をあてること「声なき声に耳を傾けて見えてきたこと」

外国人にルーツを持つ子どもの就学支援について
外国籍の児童・生徒がいる世帯には、母国語ややさしい日本語の就学案内を送付しては。

英語・中国語の案内をホームページに掲載している。今後は案内の郵送等も検討する。

不就学児を個別に把握し就学につなげる取組について区の方針は、今後の方針はどうか。

学齢簿で把握し調査しているが、安否確認程度。今後は国が作成する指針により対応する。

災害時生活必需品の備蓄について
大人用紙おむつ、子供用紙おむつ、大人用尿取りパッド、生理用品の備蓄数と数量の根拠は。

考えはない。



立憲としま さくま 一生



としま案内人駒込・巣鴨

マイボトルの利用で割引等の特典がある区内の店舗をHPで紹介するなどの取組や、区民来街者が実践したくなる取組を検討。



立憲としま 川瀬 さなえ

大人用紙おむつ2万8千枚、子供用紙おむつ2万5千枚、生理用品7千枚。大人用尿取りパッドは備蓄なし。おおむね避難者1日分を備蓄している。

保管期限が過ぎた生理用品の再利用・有効活用の方法は。

廃棄せず母子支援施設やひとり親家庭での活用を検討する。



外国人のための生活インフォメーション (区ホームページより)